

何を使う

機器 プロジェクター、PC 等

ソフトウェア（アプリ）

プロジェクターで映せるものなら何でも

それをどう使う（それで何ができる）

- ・板書の際に手間がかかる図や表などをプロジェクターで直接、黒板に投影。
- ・スクリーンではなく黒板に投影することで、図や表に直接チョークで説明に必要な事項を書き込むことができる。
- ・完成した図を見せるのではなく、黒板に投影した図などに教師や生徒が書き込んで、図を完成させていくことで、生徒の理解と思考を深めることができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 物理基礎・物理「波動」

【 Before 】

- 波のグラフや図をチョークで板書



【 After 】 **メリット**

- グラフや図を板書する時間を省略することができ、その時間を説明や演習に利用できる。
- 動画やコンピュータシミュレーションを投影すれば、動いている画像にも補足の図や説明を書き込むことができる。（例 水面波の干渉の様子を撮影した動画に節線等を書き込む）

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
			○	プロジェクター			○		
	プロジェクターで投影できるものなら何でも								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		全ての教科等		
	○	○	○	○	活用が想定される場面		板書		